VR技術を用いた医療教育の実践

放射線測定トレーニングツールの共同開発

HIROSAKI UNIVERSITY

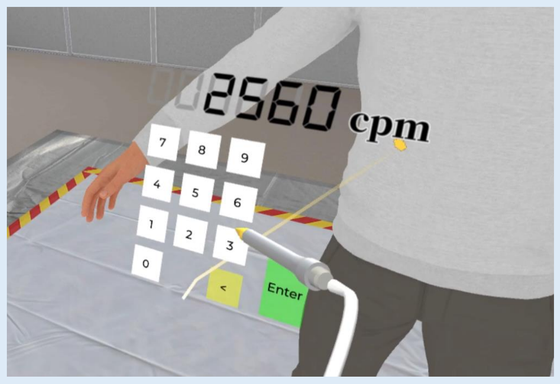
背景

目に見えない放射性物質による汚染を調査・測定するためにはスキル習得のために一定の研修が必要です。放射線測定の研修には，放射線源と高額な計測機器が必要であり，誰でもいつでも学べる環境にはありません。また昨今の新型コロナウイルス感染症による環境の変化から，対面で放射線測定の実習を行うことが難しくなっています。
弘前大学では，VR上で実際に学習者が動作を伴って学ぶことができるツールの制作を構想し，イマクリエイト株式会社のナップ技術を利用したVRトレーニングツール**「ナップ：RIサーベイ」**を共同開発しました。

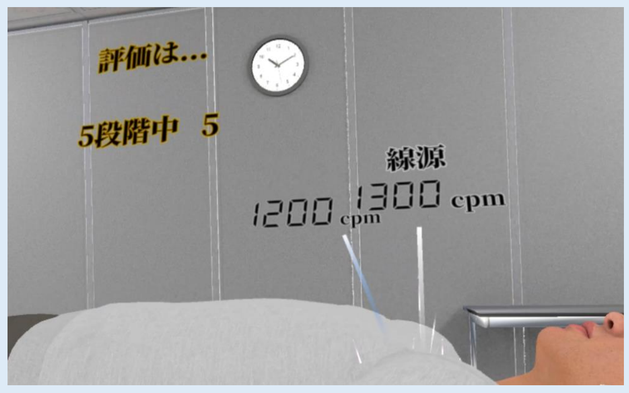
ナップ：RIサーベイ

① 適切な設定を選択しながら計測器を使うことで汚染箇所を探します。

② 汚染箇所を特定し，計測した放射線量（カウント）を入力します。



③ 学習者が回答した汚染箇所，線量が正しいかを確認することができます。



「ナップ」とは

＊イマクリエイト株式会社WEBページより引用

体の動きをデータ化し シェアできるようにする VRプラットフォーム

- ▶「体の動かし方」
- ▶「体を動かす感覚」
- ▶それらを同時に伝える必要性

「体の動き」そのものをVR上で可視化できる

- ▶ＶＲ上に可視化された動きに自分の体を重ねてなぞる
- ▶誰もが正しく体を動かせるようになる
- ▶属人的でアナログだった「動き」をデータとしてとらえるようになる

企業情報
イマクリエイト株式会社 東京都品川区東五反田5-22-7 https://ima-create.com/

iMA CREATE　弘前大学